

8 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。平成22年度は、学生指導及び学生相談に関するガイドライン等について検討を重ね整備された。

9 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

平成22年度の自己点検・評価委員会では、前年度の本委員会での検討を基に、開学年度である平成18年度から学部完成年度である平成21年度までの4年間の自己点検・評価を実施し、報告書を取りまとめるとともに、認証評価機関（財団法人大学基準協会）による評価を受けるための関係書類を作成し、同協会へ提出した。開催回数は計16回であった。

上記報告書の原案作成に際しては、各委員会・部局が執筆を分担し、自己点検・評価活動に全教職員が携わる体制をとった。また、点検・評価報告書の作成方法に関しては、大学基準協会に適宜問い合わせをし、適切な自己点検・評価活動となるよう努めた。

平成22年4月に、同協会主催の「大学評価実務説明会」に参加するとともに、前年度から作成を継続していた自己点検・評価報告書作成マニュアルを確定した。

同年6月には、執筆担当者を対象として報告書作成のための説明会を開催すると同時に、執筆にかかる負担軽減を図るため、スタッフブログを活用して基礎的情報となる根拠資料や記入様式などの情報提供を行った。

同年8月以降は、各委員会・部局において執筆された報告書の原案について本委員会が全体の整合性や分量などをチェックし、必要に応じて各委員会・部局へ修正依頼をする、というサイクルを繰り返し行い、同年9月には1次修正を終え、引き続き同年12月まで2次修正作業を継続した。

同年11月に、大学基準協会の正会員申請を行うことを決定した。

平成23年1月には、大学基準協会へ「自己点検・評価報告書（案）」の仮提出と併せて、「大学評価申請書」「正会員加盟申請書」を提出し、いずれも正式に受理された。

同年2月から3月にかけて、本提出に向けた最終チェックとして3次修正作業を実施し、同年3月に教授会、部局長会議、役員会にて報告、承認を得、「自己点検・評価報告書」を同協会へ本提出した。

また、上記の認証評価受審に向けた活動のほか、平成22年度年度計画進捗状況報告、実績報告に関わる取りまとめ及び、平成23年度年度計画の本委員会に関わる部分の原案作成等を行った。

2) 総務委員会

平成22年度は11回の委員会を開催するとともに、各ワーキンググループの検討を並行して行い、施設の整備及び情報ネットワークに関する事項などを審議した。

芸術の森キャンパス施設整備ワーキンググループにおいては、今後の教育・研究上必要な諸室等について芸術の森キャンパス全体の施設配置・整備を検討した。

施設保全ワーキンググループにおいては、長期保全計画（平成20年度策定）を緊急性・優先度及び経費縮減を考慮した計画に見直す検討を行った。

学内情報基盤整備ワーキンググループにおいては、平成23年3月末でリース契約が満了する情報ネットワーク機器の更新内容及び更新方法を検討した。

このほか、大学施設の学外者への利用について検討を行い、平成22年10月から運用を開始したことや、エコ対策として節電をテーマとした啓発ポスターを学生から募集し、優秀作品2点を学内に掲示を実施した。

3) FD委員会

平成22年度は、FD委員会として、教員の資質向上、情報の共有化、情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。10回開催したFD委員会では、FD活動の方針について論議するとともに、ひとつひとつのFD活動について、実施前後にその内容の確認・検証を行っている。

平成22年度の具体的な活動は、全学FD研修会（5回）、各学部・研究科のFD研修会（9回）、学外研修会への教職員派遣（6回延べ12名）、授業評価アンケートの効果的な活用、本学学生及び教職員への授業評価アンケートの集計結果に関する所見の公開、教員相互の授業参観等である。

また、「北海道地区FD・SD推進協議会」に幹事校として参加し、大学間のFD活動交流にも関わっている。

4) 広報委員会

「年報チーム」「ホームページチーム」「その他に関するチーム」の3つのチーム編成により機能的に活動した。

平成22年度に計10回の委員会を開催し、主に下記の活動を行ったほか、両学部のイメージDVD制作、大学歌「みらいの手」の入学式版歌詞制作、広告協賛3件、看護学部用のバス車内放送及びデジタル表示広告などを行った。

<年報関係>

教員の負荷を軽減するため「教員活動実績報告書」のフォームを活用して年報用のフォームづくりを行い、平成21年度年報を700部制作し、268部を札幌市の部局、支援団体、公立大学、道内大学等へ発送したほか、全教職員に配布した。また、次年度のため、教員評価制度特別委員会に「教員活動実績報告書」の書式制作への協力を申し入れた。

<ホームページ関係>

日本語サイト：学校教育法施行規則の改正に伴い、公立大学協会のガイドラインを参考に情報の収集及び整理を行い、「教育情報の公表」として公表したほか、デザイン学部教員の協力のもと、パノラマVRを制作して掲載した。また、すでに閉校した札幌高等看護学院分と併せて、2010年度閉校した札幌市立高等専門学校の両校卒業生のためのバナーを大学のトップページに配置した。

英語サイト：トップページを改修するとともに、デザイン学部各コースと看護学部各領域、アクセスマップ、教員プロフィール、地域連携研究センターのページを新設した。

その他、学外団体からの各種リンク設置依頼について検討を行い、5件の掲載許可を行った。

<パンフレット関係>

2011年度用：大学案内を23,000部印刷、学生募集用ポスターを2,500枚印刷、大学院案内について検討の上4,000部制作し、それぞれ公立大学、道内大学、札幌市各区役所広聴係など148ヶ所に発送した。

2012年度用：大学案内について検討し、学内からのアンケート結果を踏まえて就職実績及び卒業生のコメントを掲載したほか、「キャンパスライフ」として学生目線のページ編集を加えたデザインを制作した。また大学院案内について検討し、時間割と研究スケジュールを掲載したほか、指導教員全員の顔写真を掲載し、4,000部制作した。

5) 倫理委員会

倫理委員会は研究を遂行する際に、被験者（研究協力者）等の人権擁護の観点から、研究倫理に則った十分な配慮をした研究計画になっているかを審査している。

平成22年度は原則、毎月末日を研究倫理審査申請の締切りとし、毎月第2水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。年間の審査申請総数は57件であり、1回当たり平均4.8件の審査を実施した（最大

審査件数7件)。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

また、倫理審査の社会的透明性及び客観性を担保し、同時に申請者や委員に係るリスク管理の保全のために、平成21年度に引き続き、法律家を外部委員として委嘱することとし、中村隆弁護士が委員として審査に加わった。

このほか、審査申請様式・手順等について、ワーキンググループを組織して見直しを図るとともに、基本資料の改訂版を作成した。

6) 博士課程設置特別委員会

平成22年度の本委員会においては、平成24年度に大学院博士後期課程を設置するべく、教育課程、教員組織、施設・設備等に関する検討を行い、計11回に亘り委員会を開催した。

具体的な構想を練るため、各研究科にそれぞれワーキンググループ（WG）を設置し、デザイン研究科WGは計17回、看護学研究科は計16回開催し、主に教学面に関して、研究科の特色に応じた協議・検討を行った。各WGでの検討結果は本委員会への報告事項として、具体的計画の検討の基礎となった。

必要に応じて設立団体である札幌市との調整やアンケート調査を適切に行いつつ、設置形態、設置の趣旨・必要性、育成する人材像、教育課程、社会人学生への配慮、教員組織など広範囲に亘る検討を重ね、平成22年10月に「札幌市立大学大学院〔博士後期課程〕基本計画（案）」を策定し、役員会・審議会の承認を得た。

その後、当該基本計画を基に、入学者選抜の概要、授業の方法、教育課程、教員組織等についてより具体的な検討を重ねた。

平成23年5月末の認可申請に向け、平成22年12月からは文部科学省との事務相談を開始し、また同省主催の説明会に出席するなど、大学等設置状況の最新の動向をつかみ、確実に設置認可を得られるよう努めた。

7) 教員評価制度特別委員会

平成22年度は10回の委員会を開催し、これまで試行的に実施してきた教員評価制度について検証するとともに、申告書様式、記載内容、記入要領等の見直しのほか、評価書様式、評価記載方法についても見直しを行った。これにより教員評価実施要領を確定させ、平成21年度業績に基づく教員評価を本格実施した。

また、評価結果については、平成22年度末に任期満了を迎える教員の再任へ活用を行った。

8) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成22年度に10回の委員会を開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即して、必要となる協議を行った。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭に関すること等について議論を重ねたほか、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を提案し、協議を行った。

9) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成22年度に5回の委員会を開催し、デザイン・看護学両研究科の連携に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即して、必要となる協議を行った。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習に関すること、授業評価アンケートに関すること、また、奨学金に関すること等について議論を重ねたほか、毎回、両研究科の教務・学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を提案し、協議を行った。

学内委員会等名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	部局長会議	◎原田 昭 中村 恵子 酒井 正幸 城間 祥之 スーディ神崎 和代 中原 宏 塩澤 正樹	理事長・学長 副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長・看護学部教授 附属図書館長・デザイン学部教授 事務局長
	企画戦略会議	◎原田 昭 中村 恵子 酒井 正幸 城間 祥之 スーディ神崎 和代 中原 宏 塩澤 正樹	理事長・学長 副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長・看護学部教授 附属図書館長・デザイン学部教授 事務局長
	地域連携研究センター	◎スーディ神崎 和代 羽深 久夫 原 俊彦 矢部 和夫 武田 亘明 張 浦華 細谷 多聞 小宮 加容子 上田 裕文 坂倉 恵美子 大野 夏代 星 美和子 保田 玲子 神島 滋子 櫻井 繭子 三上 智子 常野 正浩 上田 理子	地域連携研究センター長・看護学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 事務局調整担当部長 事務局地域連携課長
	図書館	◎中原 宏 宮崎 みち子 上遠野 敏 三谷 篤史 山田 良 片山 めぐみ 吉川 由希子 新納 美美 進藤 ゆかり 上田 理子	附属図書館長・デザイン学部教授 助産学専攻科長・看護学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 事務局地域連携課長

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	アドミッションセンター	◎城間 祥之 山本 勝則 酒井 正幸 杉 哲夫 武邑 光裕 細谷 多聞 内田 雅子 星 美和子 渡邊 由加利 安立 卓也 徳永 信之助	デザイン研究科長 看護学科長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	キャリア支援センター	◎酒井 正幸 中村 恵子 杉 哲夫 樋之津 淳子 常野 正浩	デザイン学部長 副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局調整担当部長
	自己点検・評価委員会	◎中村 恵子 酒井 正幸 城間 祥之 スーディ神崎 和代 中原 宏 山本 勝則 吉田 和夫 阿部 大	副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長・看護学部教授 附属図書館長・デザイン学部教授 看護学科長 デザイン学部教授 事務局経営企画課長事務取扱
学内委員会	常置委員会	◎塩澤 正樹 齋藤 利明 羽深 久夫 望月 澄人 山田 良 河野 總子 大野 夏代 保田 玲子 河村 奈美子	事務局長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教
	FD委員会	◎武邑 光裕 大淵 一博 那須 聖 片山 めぐみ 坂倉 恵美子 守村 洋 菅原 美樹 照井 レナ 安立 卓也 徳永 信之助	デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長

I 概要

II 教育活動

III 研究活動

IV 社会活動

V キャリア支援活動

VI 入学者選抜結果

VII 附属図書館

VIII 役員会、経営審議会及び教育研究審議会

IX 学内運営の概要

X 資料

XI 教員業績一覧

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会 広報委員会	◎羽 深 久夫 吉田 和夫 ライト・デーヴィッド 福田 大年 須之内 元洋 松浦 和代 清水 光子 村松 真澄 淵本 雅昭 上田 理子	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	倫理委員会	◎樋之津 淳子 宮崎 みち子 齋藤 利明 矢部 和夫 張 浦華 松井 美穂 藤井 瑞恵 太田 晴美 上田 理子	看護学部教授 助産学専攻科長・看護学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	特別委員会 博士課程設置特別委員会	◎中村 恵子 原田 昭 城間 祥之 塩澤 正樹	副学長・看護学部長・看護学研究科長 理事長・学長 デザイン研究科長 事務局長
	教員評価制度特別委員会	◎原田 昭 中村 恵子 酒井 正幸 城間 祥之 スーディ神崎 和代 原 俊彦 松浦 和代 塩澤 正樹	理事長・学長 副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長・看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	◎酒井 正幸 中原 宏 山本 勝則 原 俊彦 吉田 恵介 定廣 和香子 安立 卓也 徳永 信之助	デザイン学部長 附属図書館長・デザイン学部教授 看護学科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	◎城間 祥之 中村 恵子 羽 深 久夫 望月 澄人 町田 佳世子 松浦 和代 安立 卓也 徳永 信之助	デザイン研究科長 副学長・看護学部長・看護学研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長

区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
衛生委員会	芸術の森地区衛生委員会	◎阿部 大 石崎 友紀 小宮 加容子 松井 美穂	事務局次長 デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師	
	桑園地区衛生委員会	◎常野 正浩 清水 光子 菊地 ひろみ 原井 美佳	事務局桑園事務室長 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教	
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎中原 宏 町田 佳世子 大淵 一博 柿山 浩一郎 斎藤 雅也 須之内 元洋	附属図書館長・デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎吉田 恵介 上遠野 敏 原 俊彦 細谷 多聞 小宮 加容子 上田 裕文	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教
		キャリア支援委員会	◎杉 哲夫 武田 亘明 石田 勝也 小宮 加容子 斎藤 雅也 福田 大年 長谷川 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	看護学部	教務委員会	◎山本 勝則 内田 雅子 吉川 由希子 菊地 ひろみ 杉田 久子 村松 真澄 山内 まゆみ 進藤 ゆかり 淵本 雅昭 松村 寛子	看護学科長 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
		学生支援委員会	◎定廣 和香子 守村 洋 田中 広美 藤井 瑞恵 渡邊 由加利 神島 滋子 櫻井 蘭子 多賀 昌江 照井 レナ 原井 美佳 三上 智子 檜山 明子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手

I 概要
II 教育活動
III 研究活動
IV 社会活動
V キャリア支援活動
VI 入学者選抜結果
VII 附属図書館
VIII 役員会、経営審議会及び教育研究審議会
IX 学内運営の概要
X 資料
XI 教員業績一覧

区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	キャリア支援委員会	◎樋之津 淳子 清水 光子 山本 真由美 太田 晴美 河村 奈美子 工藤 京子 鶴木 恭子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
			研究科委員会	デザイン研究科
	看護学研究科	教務・学生支援委員会		◎松浦 和代 定廣 和香子 菅原 美樹 新納 美美

◎印：所管部局長

10 FD・SD活動

FD・SD研修会の実施

全学FD・SD研修会		研修会名（講師）	場所	参加者（数）
平成22年 4月9日	SD	新規採用職員研修	理事会室	事務職員5名
平成22年 10月25日	FD・SD	発達障害の疑いのある学生を支援するために	桑園：講義室3	教職員30名
平成22年 11月17日	FD・SD	大学生の就業力育成事業の概要と今後の取り組み	桑園：大会議室 芸森：大会議室（遠隔）	教職員82名
平成22年 11月30日	FD・SD	大学における知的財産の活用	桑園：大会議室 芸森：大会議室（遠隔）	教職員32名
平成22年 12月7日	FD・SD	札幌市立大学海外研修旅行（スタディツアー・マレーシア）報告	桑園：大会議室 芸森：大会議室（遠隔）	教職員39名
平成22年 12月27日	FD	シラバスの記載項目、記載方法等について	桑園：講義室1 芸森：大会議室（遠隔）	教員7名
平成23年 1月13日	SD	各課の業務と決算業務との関係	大会議室	事務職員28名
平成23年 1月18日	SD	公立大学法人会計の理解（基礎）	大会議室	事務職員11名